

連続シリーズ

偕行会リハビリテーション病院 専門職について



【脳卒中リハビリテーション看護認定看護師について】

日本看護協会が認定する 21 分野のうちの一つに『脳卒中リハビリテーション看護』があります。脳卒中患者の発症直後から在宅生活におけるまで、その人らしい生活の再構築に向けて質の高い看護実践を行うこと、更に自分自身が実践するだけでなく、自分の周囲の看護スタッフに指導し、スタッフも巻き込みながら日々の患者ケアに関わって行く事が役割です。



【回復期看護師について】

患者さまは、1日24時間のうち訓練以外の21時間を病棟で生活しています。その中で生活リハビリを行なうのが、回復期ナースの務めです。生活動作全てにおいて、リハビリの視点で患者さまと接することが大切です。毎日のケアにひとつリハビリを加えることで、患者さまに還元できる『one care, one reha, one gift』当院看護部のスローガンです。

【今後について】

常に患者さまの生活を見ているのは看護師であり、『しているADL』に密に関わっているのも看護師だと思います。H28年度から、FIMの評価を看護師が行うようになります。生活を見据えた看護ケアの提供を看護部全員で行い、より多くの患者さま、ご家族の笑顔と出会えるよう頑張りたいと思います。

また、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師として、地域住民の方にも目を向けた取り組みを行なっていきたいです。

《脳卒中啓発ポスター》



3階病棟 クリニカルチーフ
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
今井 志保